



衆議院議員

藤田 まこと

NEWS LETTER

仕事人通信

VOL.

6

2026/07/31

八潮復旧推進議連を創設



7月には、古川俊治参議院議員、宇田川県議らとともに「八潮道路陥没事故復旧推進議員連盟」を設立し、国・県・市の議員が一堂に会して、早期復旧と被災された住民・事業者への支援について議論しました。総会では、埼玉県や関係省庁から現在の復旧状況や支援策についてヒアリングを行い、今後の課題についても意見交換を行いました。その内容をもとに、継続的な被災者支援や、インフラ事故に迅速に対応するための制度整備について、金子恭之国土交通大臣、林芳正総務大臣へ直接要望を申し入れしました。事故を一過性のものにせず、生活再建と再発防止につなげるため、引き続き国・県・市が連携し、復旧と地域再生に取り組んでまいります。



中小企業のAX実装を推進



「中小企業AX実装推進タスクフォース」の発起人幹事として、赤沢亮正経済産業大臣へ緊急提言を申し入れました。これまで全4回にわたり議論を重ね、新人衆議院議員約40名、アドバイザーに牧島かれん元デジタル大臣が参加。中小企業・小規模事業者のAX（AIトランスフォーメーション）を力強く後押しするため、「5本の矢」として提言を取りまとめ、申入れいたしました。AIの活用は、一部の大企業だけでなく、むしろ日本企業の大半を占める中小企業・小規模事業者こそAXを広げ、「稼ぐ力」の向上と持続的な賃上げにつなげていくことが重要です。今回の提言をスタートラインとして、現場の声を政策へとつなぎ、一つひとつ着実に実現へ向けて取り組んでまいります。



TX議連事務局次長として延伸実現へ

つくばエクスプレス利用・建設促進議員連盟では、引き続き事務局次長として、東京駅延伸や臨海地域との一体的な整備に向けた取り組みを推進しています。国土交通省鉄道局長への要望申し入れなどを行い、沿線自治体や関係者と連携しながら実現に向けた議論を進めています。TXは交通利便性の向上にとどまらず、筑波・柏の葉の研究開発力と沿線地域のものづくりを結ぶ、日本の成長戦略につながる重要なプロジェクトとして、引き続き取り組んでまいります。



お問い合わせ

E-mail : info@fujitamakoto.com

TEL : 03-3508-7192

FAX : 03-3508-3622

■国会事務所

〒100-8991 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1206号室

■草加事務所

〒340-0034 埼玉県草加市氷川町845

WEB



友だち募集中!

自民党



7月の主な取り組み・実績

藤田まことより、令和8年7月における自民党の取り組み・実績を抜粋してご紹介いたします。

日本列島を、
強く豊かに。



1. 骨太方針・成長戦略を閣議決定



高市総理は、経済財政諮問会議・日本成長戦略会議合同会議において『日本成長戦略』及び『骨太方針』を取りまとめ、『地域未来戦略』の報告と合わせて3つの文書を閣議決定しました。今年の『骨太方針』の副題は「責任ある積極財政」元年～日本の挑戦を起動する！～としています。高市内閣は、「強い経済」の構築と「財政の持続可能性」の両立を掲げ、賃上げや地方創生、新技術・AIの社会実装などを推進しながら、未来への投資を進めていきます。私も地域課題を国策に結びつけるべく、道路陥没に関しては国土強靱化政策、厚生労働領域においては、予防医療の推進、経済産業領域においては中小企業の稼ぐ力の強化など後押ししてまいります。



2. 熊本地震対策本部を設置



熊本県で最大震度7を観測する地震により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。地震を受け、自民党は「令和8年熊本地震対策本部」を設置し、政府与党一体で対応に当たることを確認しました。会議では、被害状況や救助活動、避難所支援について報告を受けるとともに、給水支援や熱中症対策、通信インフラの早期復旧、災害ボランティアの受け入れ体制などについて意見交換を行っております。地元においても、地震はもとより内外水氾濫など常に危機と隣り合わせです。特にこれまでの想定をはるかに上回る集中雷雨については対策を急がねばなりません。関係各位と相談のもと現状対策の進捗と効果測定、更なる対策強化に取り組んでまいります。



3. ソロモン諸島首脳会談・遺骨収集



高市総理は、ソロモン諸島のワレ首相と首脳会談を行い、ガダルカナル島をはじめとする激戦地での日本人戦没者の遺骨収集事業や、水産・保健・人材育成など幅広い分野で協力を深めることを確認しました。実は私もこれまで計4回、延べ4週間に渡り、ガ島の密林で遺骨収集活動をした経験があります。直近も活動を共にした日本青年遺骨収集団の平野副理事長、全国ソロモン会の崎津会長から、厚労省の戦没者遺骨収集事業の課題を伺いました。命をかけた我々日本人の先輩方をそのままに はいけません。国がはじめた戦争なのですから、お亡くなりになった方にもしっかりと対応するのが国の責務です。生きたかった方々の想いの上に今の日本があることを忘れず、実行性のある制度改善に取り組んでまいります。



藤田まこと | 三郷出身。53歳。上場企業創業者。がんサバイバー | 自由民主党埼玉県第14選挙区支部長

1973年三郷市生まれ。三郷市立前間小、市立早稲田中卒業。埼玉県立越谷北高等学校卒業。明治大学商学部卒業。

広告・IT・ベンチャー業界を経て、2007年に現INCLUSIVE Holdings株式会社を創業。東証グロース上場後、宇宙・地方創生・老舗再生など幅広い事業を展開。

2023年に悪性リンパ腫ステージ4を経験し、治療・寛解を経て「命に寄り添う政治」を志す。起業家としての実行力を活かし、市民と共につくる「政策共創」を掲げ活動。